

会 見 日 2014/08/08

8割を超す介護保険サービスへの満足度、
“健康長寿”にも高い関心 ~高齢者の生活
と意識に関する調査結果~



Shizuoka Prefecture

(要旨)

高齢者の生活実態や意識を把握するため、「ふじのくに長寿社会安心プラン」策定に合せて、3年ごとに県内に在住する高齢者を対象に意識調査を実施しているが、平成25年度の調査結果がまとまったので報告する。なお、この結果については、今年度末策定予定の同プランへ反映させる。

(概要)

1 要支援・要介護認定者に対する調査

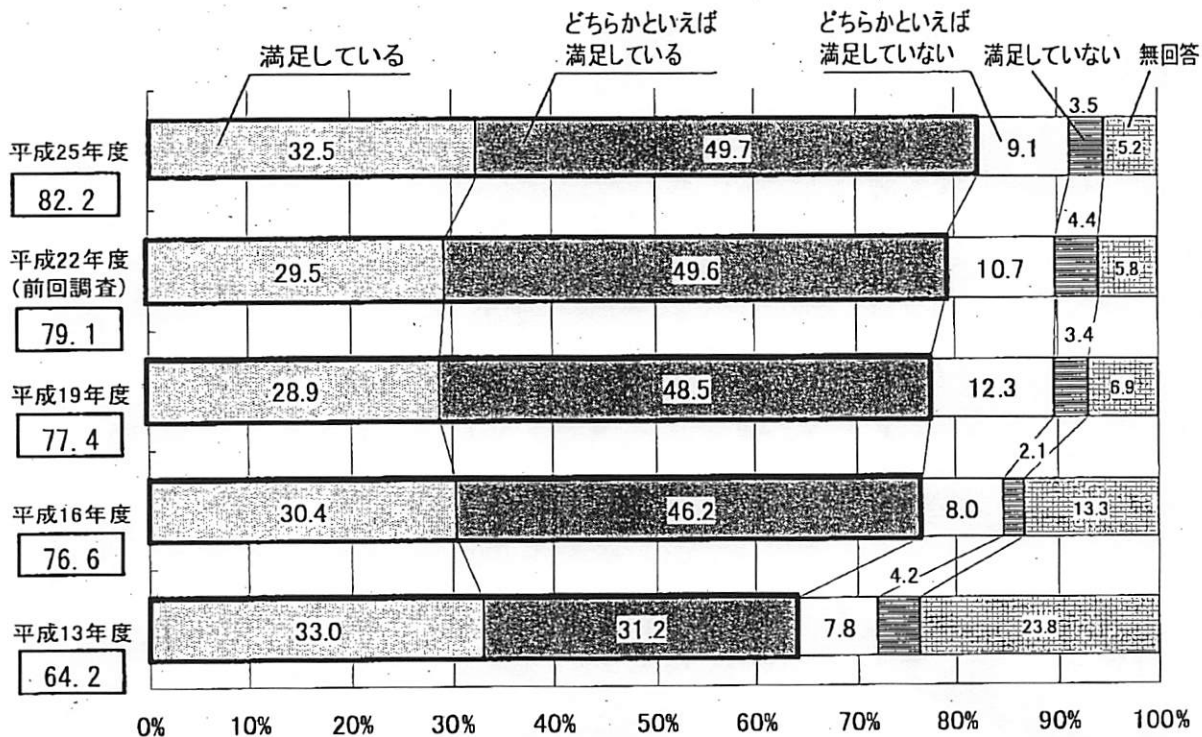
県内の在宅の要支援・要介護認定者19,181人から回答を得た。介護保険制度の定着もあり、制度に対する満足度は上昇している。

介護保険制度に対する満足度 (回答対象：介護保険サービス利用者)

○満足度は3.1ポイント増加し、過去最高の82.2%に

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると82.2%であり、前回調査の79.1%に比べて、3.1ポイント満足度は増加している。

【図1：介護保険制度全般についてどう思うか(認定者調査)】



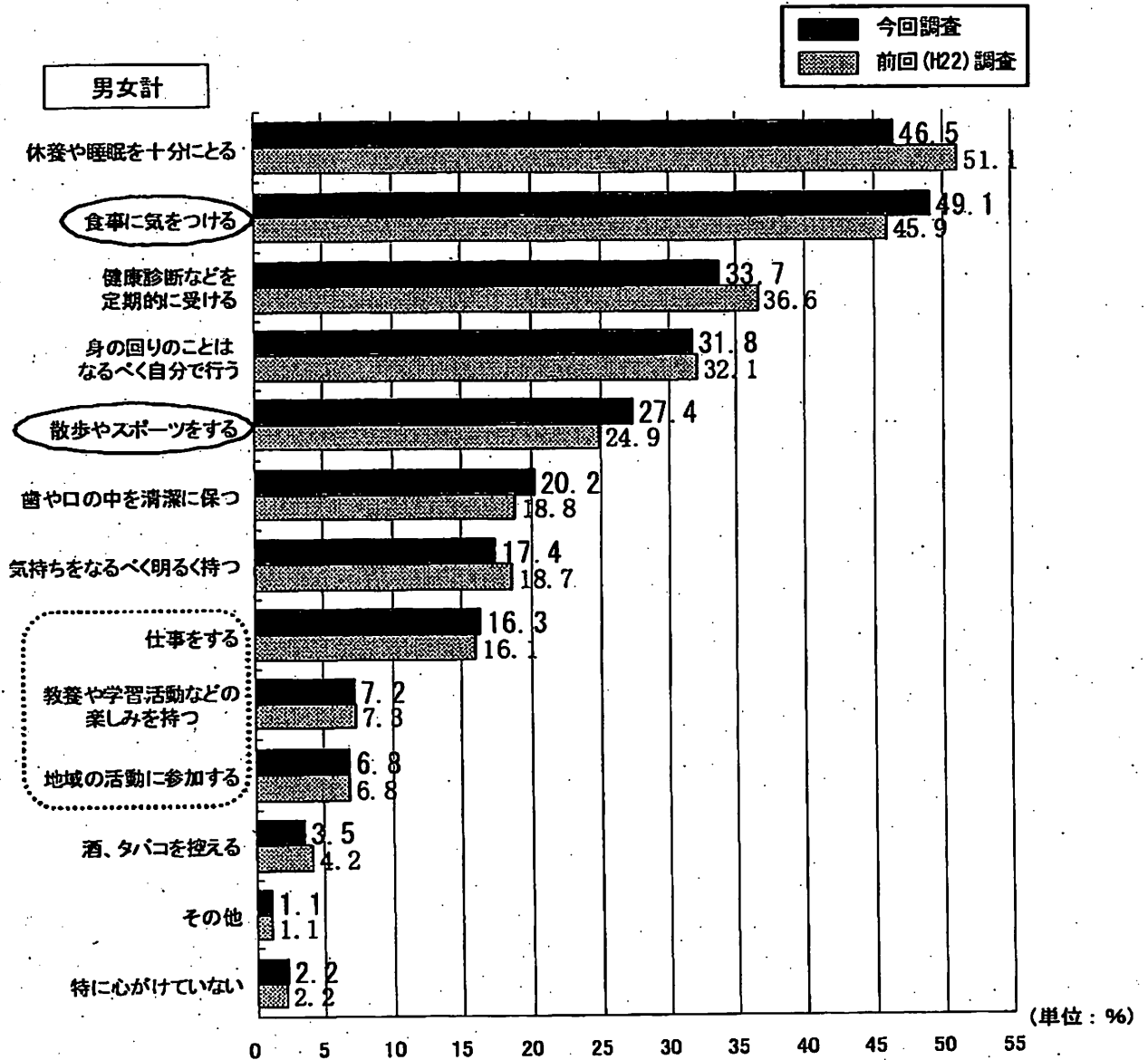
2 一般高齢者に対する調査

県内の65歳以上で、要支援・要介護認定を受けてない方39,311人から回答を得た。健康長寿の3要素である「運動」「食生活」「社会参加」に関する回答が高い割合を示し、「健康寿命日本一」を支える元気な姿をみてとることができる。

1) 健康のために心がけていること

○「食事に気をつける」、「散歩やスポーツをする」が前回調査から上昇
 前回調査と比較すると、健康長寿の3要素に関する「食事に気をつける」と「散歩やスポーツをする」が約3ポイント上昇している。

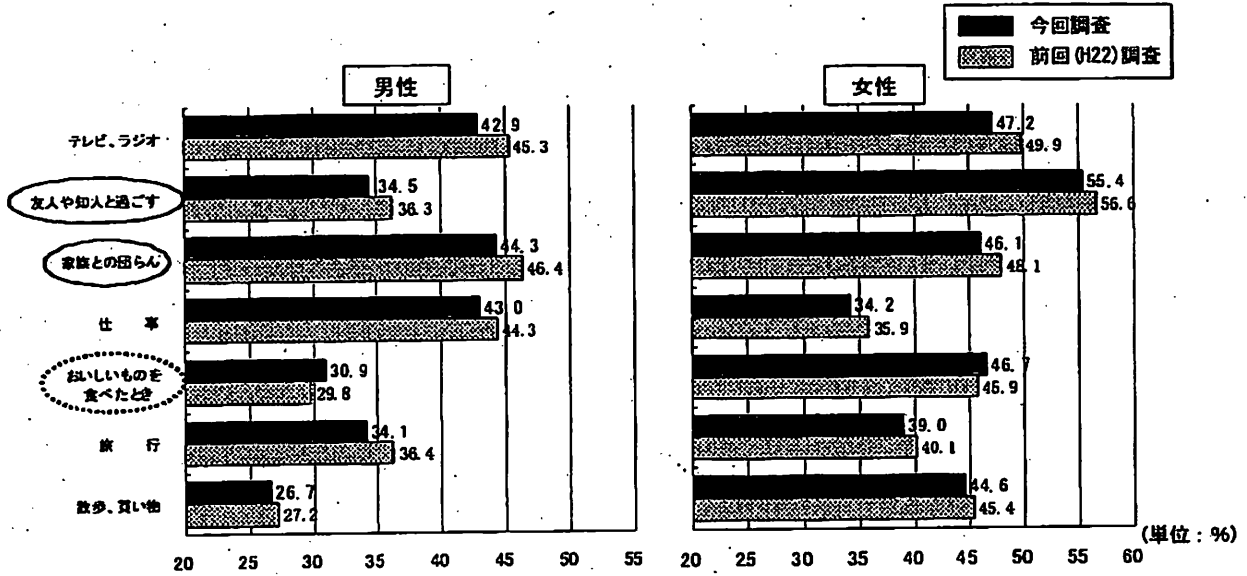
【図2：健康のために心がけていること（一般調査、複数回答）】



2) 生きがいを感じる時

○「家族との団らん(男性)」、「友人や知人と過ごす(女性)」が高い割合
 前回調査の傾向と同様に、男性では「家族との団らん」が、女性では「友人や知人と過ごす」が最も多く、「人とのつながり」から生きがいを見出している傾向をみてとれる。また、「食」に係る項目が唯一、男女ともに前回数値を上回っている

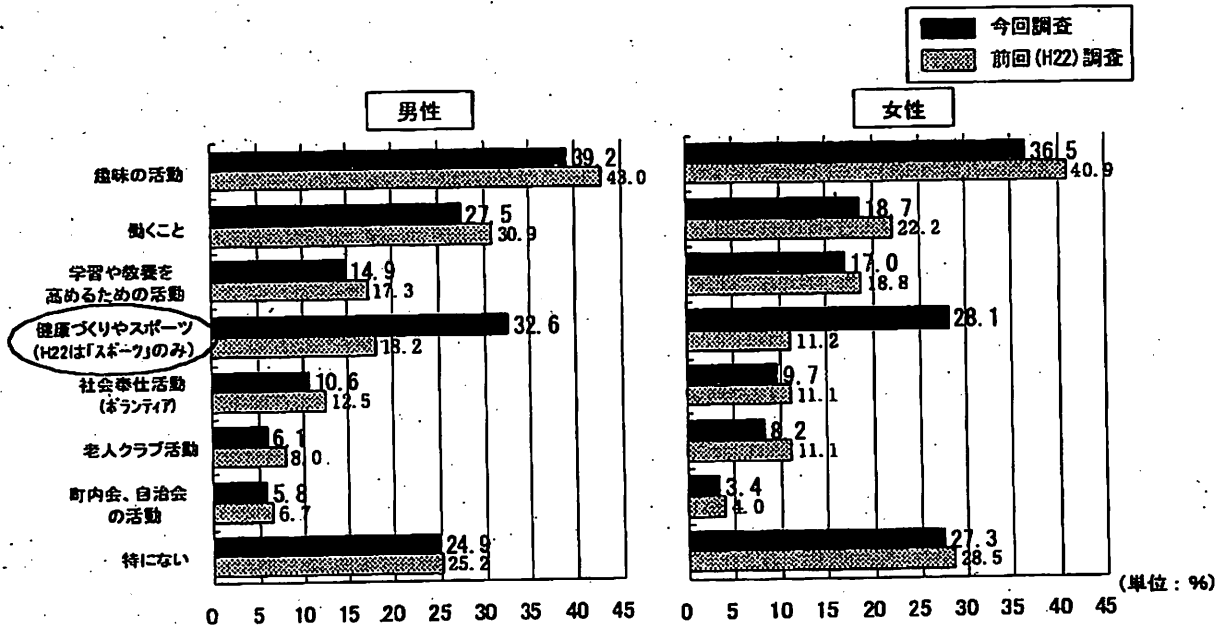
【図3：生きがいを感じるのはどのような時か(一般調査、複数回答)】



3) 今後やってみたいと思うこと

○「健康づくり」への高い関心
 男性、女性ともに「趣味の活動」が最も多くなっている。また、「健康づくりやスポーツ(H22では本項目は「スポーツ」)」が、前回調査に比べ増えており、本項目からも「健康づくり」への高い意欲を伺うことができる。

【図4：今後やってみたいと思うこと(一般調査、複数回答)】



担当：健康福祉部 福祉長寿局長寿政策課
 連絡先：計画班 TEL 054-221-2975